

2020年5月15日

新型コロナウイルスへの対応について

日本放送協会

会長 前田晃伸

新型コロナウイルスは、きのう39県で緊急事態宣言が解除されましたが、今なお健康や暮らしに深刻な影響をもたらしており、緊急事態宣言が継続している東京など8都道府県をはじめ、感染拡大防止への一層の取り組みが求められています。

NHKは、公共放送・公共メディアとして、「命と暮らしを守る」という使命を果たすため、テレビ、ラジオ、それにインターネットと、あらゆる伝送路を使って、新型コロナウイルスに関する情報を発信しています。

テレビやラジオでは、定時のニュース番組のほか、随時、放送時間を拡大したり、特設ニュースや生活情報をお届けしたりしているほか、4月20日からは、新型コロナウイルスに関する各地の最新情報をお伝えする「列島ニュース 新型コロナ最新情報」の放送を始めるなど、全国ネットワークを生かして地域ニュースの発信を強化しています。「NHKスペシャル」でも毎週、最新の情報や対策、課題などをお伝えしています。

テレビ画面で文字情報を出す「L字放送」は、全国放送だけでなく地域放送でも行うなどしており、国や自治体などのさまざまな支援制度や相談窓口の連絡先などをお伝えしています。

また、NHKオンラインの新型コロナウイルスの特設サイトも、視聴者の方が必要な情報にアクセスしやすくなるようリニューアルし、さまざまな情報を掲載しています。政府や自治体、専門家会議の会見などを、これまでに600回以上ライブストリーミングで配信しています。

NHKプラスでは、見逃し番組配信で関連情報をまとめたプレイリストを設けているほか、休校中の子どもたちに向けた番組、また、体を動かして健康に過ごしていただくため、体操やトレーニングに関する番組など、外出自粛の中でも幅広い年代の方に楽しんでもらえる番組を提供しています。

感染拡大防止のため、収録を見合わせている大河ドラマ「麒麟がくる」と連続テレビ小説「エール」については、6月に放送を一時休止することとしました。番組を楽しみにご覧いただいていた視聴者の皆さまには大変申し訳ありませんが、ご理解をいただきたいと思えます。休止中に放送する代替番組については、現在、検討をしているところです。「麒麟がくる」と「エール」の放送の再開時期については、収録再開の状況を見極めながら検討し、決まり次第お知らせしたいと考えています。

受信料につきましては、すでに公表している通り、多くの中小企業や個人事業者の事業継続が困難となる事態が生じていることから、事業者の負担を軽減するための緊急的な措置として、一定の条件で受信料を免除することにしており、今月18日から受け付けを始めます。

感染拡大防止のための公開番組やイベントなどの中止の措置は、5月末まで継続することにしており、その後については、状況や地域の事情に応じて検討いたしますが、すでにお知らせしたようにNHKスタジオパークは閉館させていただくことにしました。

NHKは、新型コロナウイルスを克服するための行動指針にもとづき、公共放送・公共メディアとして、視聴者・国民の皆さまに真に役立つ放送サービスをお届けするため、引き続き全力で取り組んでまいります。

(以上)